



この範囲でフリースペクトラルレンジをケラレ無しで観測可。

光束にケラレがあるスペクトル像の範囲のCCD上での位置。黄緑色の線の内側がケラレのない領域。ここではおよそ4100-7800 Åの範囲のTh-Arランプのスペクトルを使って測定。CCDを結像光学系に5mm近づけピンボケの像を撮り、ビームの形を調べた。図の横方向はCCDの全範囲が表示されているが、縦方向は元画像のピクセルで300--3800の範囲(全範囲は1--4116)を表示している。観測波長を変えてもケラレ無しの領域はCCD上を移動しない。重要なスペクトル線が黄緑色の線の十分内側に来るように観測計画を立てる必要がある。水色の破線は概略のフリースペクトラルレンジ。